



## クモリライド

全国日蓮宗青年会長

塩田義照

新たな年を迎え、  
おくとよ。

新年の抱負、目標を立てるのは日本だけの行為ではない。アメリカで行われた調査によると、92%の人が未達成に終わるそうだ。多くの人が本当にやりたいことではないことを目標にしてしまうことが、その原因である。しっかりと過去を振り返り自分の感情を伴った目標を立て、そこに価値観やテーマを盛り込んで

た例えば、「資格試験のために毎日2時間勉強をする」といった味気ない目標を立てると、途中で状況が変わって失敗することがよくある。けれども、「ワクワクする学びの1年」といった目標を立ててみると、臨機応変に修正・変更しながら挑戦できるのではないだろうか。似たような話は組織にもある。『ピト

## 「新しいつながり」のその先へ

デはクモよりなぜ強い」という組織論の本では「クモは8本の足があるが頭を潰されれば死んでしまう。だがピトデは2つに切られても、それぞれがまた1匹のピトデとして再生し生き延びる。体の中心部は体の指令塔ではなく、主な器官はそれぞれの腕の中にある」と管理統制型の組織の弱さを「クモ」に、フラットで誰もが責任を持つている分権型組織の強さを「ピトデ」にたとえている。

ともに「活動の原点に立ち回り」、自分たちの正解を模索してきた。その活動は、私たち1人ひとりが日蓮聖人との「新しいつながり」を感じ

る日々であった。そしてそれは「クモ」のように一貫性のある組織構造を保持しつつ、「ピトデ」が動くために1本の腕が別の腕を協力させるかのように数多くのメンバーが協力し主体的に行動する、クモ型・ピトデ型のハイブリッド組織「全国日蓮宗青年会」の変化の日々でもあった。

現執行部の任期も残り4カ月。5月からはいまはじまる新執行部、自分たちの「新しいつながり」のその先がとても楽しみだ。

「新しいつながり」というテーマと